

## 熊本 S. J. C. D. 例会抄録

演題 「Hellman の Dental Age III A における咬合誘導の 2 症例」

演者 鮫田誠也

日付 2013 年 7 月 23 日 (火)

KeyWords

1. 咬合誘導

2. MFT

抄録

毎日の臨床において、歯列不正で来院される小児を見ない時はないというほど、何らかの問題を抱えている小児患者が多いのは周知の事実である。そのまま経過を見ることで、将来、便宜抜歯や、ブラケット矯正、外科矯正といった複雑な治療を選択せざるを得なくなることもある。乳歯の萌出から乳歯咬合の完成、更に永久歯への交換をスムーズに移行させていくことが「小児の咬合管理」と考える。その際「成長を妨げる異常因子」を取り除くことは、我々歯科医療従事者の使命である。

今回の発表は、共に第 1 次成長期が終わり第 2 次成長期に向かっている「Hellman の Dental Age III A」の①下顎前歯叢生の 7 歳 10 か月女児、②前歯部クロスバイトの 7 歳 2 か月女児の 2 症例である。共に、床矯正装置、MFT、食事指導による咬合誘導を行い、現在、床矯正を終了して①女児は 1 年、②女児は 4 年経過しているが安定した永久歯列に移行している。

諸先生方のご教授を宜しくお願い致します。